

第2回 湖西市総合計画審議会 会議録（要旨）

開催日時	令和2年2月4日（火）15:00～17:00
開催場所	湖西市健康福祉センターおぼと3階 研修室
委員	（出席者）11人 （事務局）5人
内 容	
1 開会	事務局 企画政策課長があいさつ、資料確認、前回の振り返り
2 会議	<p>池上会長：審議会に求められていること、要点を再度確認させていただく。</p> <p>総合計画とは、福祉、子育てなど様々な分野が違う方向を向かないように束ねる計画である。策定に際しては、市民の立場で意見する審議会と行政の立場で意見する市の内部組織である策定委員会が、意見を出し合い、車の両輪として策定を進めていく。</p> <p>総合計画は、2040の理想の姿、実現に向けての考え方、理念などを示した基本構想と施策を体系化し、具体的な計画を示した基本計画の2層で構成される。今回は、この2層構造の1つ基本構想について議論を進めていく。</p> <p>基本計画については、来年度の第4回より議論を進めていく。</p> <p>池上会長：議事に沿って進めていく。KOSAIの理想の姿について事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局：基本構想素案について（資料1 P1～3：KOSAIの理想の姿2040について）説明 参考資料：序章（案）について説明</p> <p>加藤委員：予算がない中でまず3の稼ぐ湖西をつくらなくては、1、2、4のまちの実現は難しいと考える。理想の姿に記載のある1から4の順番に意味があるのか。</p> <p>事務局：1から4の順番は、総合計画の中で重要性や優先順位を示すものではない。市民に直結する基本的なことである安全・安心なまちを先に掲げている。</p> <p>竹島委員：2の結婚・出産・子育ての希望をかなえとあるが、全国的な問題でもある。未婚率の増加、少子化の原因などを分析しなくてはいけないが、具体的に市として何を行うイメージなのか。</p>

事務局：市として考えられるのは、婚活等によるサポートより、女性が活躍する場の創出をサポートし、それにより結婚、出産への不安を軽減し支援していきたい。もう1つは4のつながりを築き、様々な人との出会い、活動の場を広げることにより結婚などに繋がればと考えている。

池上会長：根拠がどの程度あるのか。参考資料のP7、8に興味深いデータがある。袋井市の女性未婚率が低く、出生率は高い。高速や公共交通なども湖西と同様の立地条件でもある。袋井と湖西の違いについてベンチマークを行っているか。

事務局：今後詳細な分析は必要であるが、感覚として企業の数など産業部分は近いと考える。大きな違いは、宅地提供数などではないか。

池上会長：予算の配分の比率など、ベンチマークが必要である。

加藤委員：近隣で参考になる場所がある。卓球の話でも磐田市が優秀な選手を多数輩出しているのは偶然ではない。幼いころから取り組める環境づくりをしている。

中野委員：3、4については現行の計画との違いがわからない。変わらないことが大切なこともあるが、今までを振り返り何を変えなくてはいけないのかが見えない。

事務局：現行の計画との大きな違いは、1から4に共通して、根幹が人口減少対策である点である。それぞれが湖西市を選んでもらう、住みたくなるようなまちを目指している点である。

中島委員：3で記載のある湖西の立地環境の特性とは、産業の面以外に何を意図しているのか。

事務局：東京都、大阪府の中間点、静岡市、名古屋市の中間点などの地理的な特性なども含めている。

中島委員：地理的に長泉町なども参考になると思うが、中間というだけでは住む理由にはならないと考える。

大石委員：湖西市は、工業は強いが、商業や飲食業が弱いイメージである。また、土地の値段も他と比較すると若干高いように感じる。若い人は、不便な所は選ばないが、安い土地に流れていると感じる。商業や飲食業をもっと呼び込むことも必要ではないか。

袴田委員：昼夜間人口差10,000人を解消するためには人口増加が必要である。例えば市で土地を買い、安い金額で家を建てられる土地を提供するなど、若い人の収入に合わせた土地利用ができればと考えるが、何か施策はないのか。

事務局：職住近接を掲げており、宅地提供などの必要性は感じているが、現時点で具体的な計画はない。

袴田委員：空き家も多くあると聞くが、活用されている印象はない。それらを活用していただければ良いと思う。

池上会長：P3 の記載の仕方について修正をした方が良い。

2. ③文中 活躍の場を無くすことのないようには前向きな表現に変更
4. ①文中 東京圏の一極集中を是正は総務省の視点であり湖西の視点に変更

池上会長：次に KOSAI のキャッチフレーズについて事務局より説明をお願いします。

事務局：基本構想素案について（資料1 P4：KOSAI のキャッチフレーズ）説明

池上会長：キャッチフレーズの意見交換の時間は別途設けている。将来人口ビジョン、土地利用構想を聞いてから意見交換を行う。

池上会長：次に将来人口ビジョンについて事務局より説明をお願いします。

事務局：基本構想素案について（資料1 P5、6：将来人口ビジョン）説明

池上会長：市は、人口目標の合計特殊出生率 1.6 以上が達成可能な数値と考えていると認識して良いか。

事務局：良い。

加藤委員：合計特殊出生率 1.6 と目標人口 52,000 人と市の財政面の関連性が見えない。それを示さなければ 1.6 の数字に意味がない。1.6 と 52,000 の根拠はあるのか。

事務局：財政的な話では 52,000 人に根拠はない。ここで重要な点は、社会増減をプラスにして合計特殊出生率 1.6 以上にするという目標を立てることにある。

加藤委員：60,000 人を維持するという発想はないのか。理想の姿は高めに設定する方が良いのではないか。

事務局：人口目標も含め本日ご意見をいただければと考えている。

池上会長：2つの考え方がある。1つは、現状を維持するためにどれだけのことを行っていけば良いか、もう1つは、減るのは目に見えているため、どのようにダウンサイズしていくかである。人口の減少に対してどのように予算配分をしていくのか、そこが中途半端になっている。その点の食い違いがある。市として減少を受け入れる、維持するためにすべての資源を投入していくという考えはないということで良いか。

事務局：良い。

加藤委員：誰が決めたのか。市と市民の合意形成を得る機会がこの会ではないのか。
若い世代の意見はどうか。

中野委員：減少を受け入れた上で今後の市の事を考えるのは賛成である。合計特殊出生率など市が子どもを産むのではなく市民である女性が産む。市が数値を上げた
いは理解するが、若者の意識と市の考えにずれがあるように思う。

事務局：女性活躍の時代であり仕事と家庭の両立など様々な生き方がある。そういう
部分で間接的ではあるが支援をできればと考える。

白井委員：少子化や若者流出が近隣でも目に見えている。第1歩として昼夜間人口差の
解消をしていかなければ状況が変わらないと考える。財源が限られている中で
住む人が豊かに暮らせるようにし昼夜間人口の差を解消しなければいけない。

井川委員：若者が大学に進学し卒業後、湖西に戻ろうと思えるまち、暮らしやすいまち
でなくてはならない。成人式に参加する方々が何年後かに戻ってくるようなま
ちになってほしい。それが良い循環に繋がると思う。

白井委員：進学等で出て行った子どもたちが戻ってきたくなるような支援があれば良い
と思う。

末吉委員：中国の場合企業の退職年齢は54歳が一般的であり夫婦の90%以上が共働き
である。孫たちの世話は祖父祖母世代が行う。そのような社会構造でなければ
共働きと出生率増加の両立は難しい。
キャッチフレーズについて外国人も意識するのであればやさしい日本語を使っ
てほしい。

加藤委員：昼夜間人口差の解消も大切だが、産まれ育った子たちが戻ってきたくなるよ
うな市にしなくてはならない。

池上会長：次に土地利用構想について事務局より説明をお願いします。

事務局：基本構想素案について（資料1 P7～10：土地利用構想）説明

池上会長：P9 ひとの交流内昼間人口の多い工業エリア…の部分が抽象的で何を指すのか。

事務局：道路沿線に店舗出店などを促し、昼間働いた方が帰宅の際にお金を消費する
場所ができることをイメージしている。

竹島委員：新所原駅周辺に飲み屋が出店し、労働者が帰りに飲食できるようにするなど

を想像する。

加藤委員：抽象的すぎるためわかりづらい。具体的な絵を描かなければわからない。

池上会長：記載されている内容がわからない。この書き方では建設的な意見交換ができないため、次回以降に持ち越しとする。

池上会長：最後にキャッチフレーズの意見交換をする。

池上会長：今までの議論を集約すると

- ① 外国人を意識するのであればわかりやすい日本語表現をすること。
 - ② 生まれ育った子どもたちが戻ってきたくくなるような市であること。
- これらを踏まえると④がわかりやすいと感じる。原案として提示させていただくのでご意見をいただきたい。

中野委員：選ばれるという表現が人を見ていないように感じる。市が転入してきてほしいという意図はわかるが、市民目線ではない。市民WGの意見にある住みたいなどの原案がなぜ変わってしまったのか。どこに向けた総合計画なのか。

竹島委員：文言の入れ替えは問題ないのか。

事務局：良い。

竹島委員：④の「選ばれるまち」を「絆広がる」に入れ替えてはどうか。

池上会長：今日の会議で決定しなくてはいけないのか。

事務局：後日意見票を送付するため、そちらで回答をいただければ良い。

池上会長：第3回審議会で決定していく。

その他

事務局から事務連絡

閉 会